

「スマートシティ・グローバルネットワーク」 設立趣意書（案）

世界各地において、都市部への人口の集中化により住環境悪化や交通渋滞が深刻化し、地球環境の面でも負荷が拡大しています。また、日本では、各地域で人口減少や少子高齢化、地方経済の活力の低下などの社会的課題を有しており、これらの課題は今後グローバルに共通の課題となりうる問題となっています。

そうした課題を解決し、誰もがいきいきと幸せに暮らすことができるスマートシティをつくるためには、情報通信技術（ICT）等を最大限活用し、地域の特性に応じて、エネルギー・環境、健康・医療、交通、水、防災・防犯、雇用など多様な課題を「賢く（スマートに）」解決し、持続的に発展する社会をつくっていくことが極めて重要です。

そのためには、ICT等の最新技術とノウハウを有する企業と多様な社会的課題を共有する国内外の地方自治体が相互に連携・協働することにより、企業は技術を、地方自治体は施策を高め合うことで、新たな社会システムとイノベーションを創出し、スマートシティづくりの原動力としていくことが重要になるものと考えています。

こうしたことから、私たちは、世界各地域が互いに切磋琢磨し、それぞれの生活文化を活かして完成度の高いスマートシティ・モデルを構築できるよう、国内外の企業と地方自治体が積極的に参加・交流できる場として、この度「スマートシティ・グローバルネットワーク」を設立し、この会議の活動を通じて、国際的な連携・協働関係を深め、世界のスマートシティづくりに貢献していくことを決意します。

平成27年5月21日